

林道工事及び治山工事における施工管理等の様式について

平成 8 年 2 月 29 日 付 け 8 林 野 業 一 第 7 号
林 野 庁 長 官 よ り 各 営 林 (支) 局 長 宛
〔 最 終 改 正 〕 平 成 26 年 3 月 31 日 付 け 25 林 国 管 第 163 号

林道工事及び治山工事における施工管理については、昭和 4 6 年度から管理基準を定めて実施しているところであるが、契約約款等の改正による施工管理体制の変化及び統一様式による事務処理の円滑化を図るため、別紙のとおり新たに様式を定めたので通知する。

なお、「林道工事及び治山工事における施工管理等の様式について」(昭和 4 7 年 2 月 1 5 日 付 け 4 7 林 野 業 第 3 3 号 林 野 庁 長 官 通 達) は、廃止する。

様式集目次

様式番号	名 称	関係条項等
第 1 号	入札書	競争入札
第 2 号	見積書	随意契約
第 3 号	見積書	契約変更
第 4 号	請負代金額内訳書の提出について	契約約款
第 5 号	工事工程表の提出について	契約約款
第 6 号	着工通知書	契約約款
第 7 号	現場代理人及び主任技術者等通知書	契約約款
第 8 号	経歴書	契約約款
第 9 号	工期延長願	契約約款
第 10 号	損害の発生通知書	契約約款
第 11 号	完成通知書	契約約款
第 12 号	部分検査願	契約約款
第 13 号	中間前金払認定願	契約約款
第 14 号	の提出について	標準仕様書
第 15 号	指示、承諾、協議、確認、検査、立会	報告書 願書
第 16 号	指示 通知書 承諾	標準仕様書
第 17 号	施工計画書	標準仕様書
第 18 号	現場組織表	標準仕様書
第 19 号	指定機械	標準仕様書
第 20 号	仮設備計画図	標準仕様書
第 21 号	緊急時の連携体制	標準仕様書
第 22 号	施工体制台帳	標準仕様書
第 23 号	工事事務報告書	標準仕様書
第 24 号	コンクリートポンプ施工計画書	標準仕様書

様式番号	名 称	関係条項等
第 25 号	施工管理担当者通知書	施工管理基準
第 26 号	工事日報	施工管理基準
第 27 号	コンクリート打設 計画表 進行図	施工管理基準
第 28 号	出来形図	施工管理基準
第 29 号	出来形集計表	施工管理基準
第 30 号	コンクリートのスランプ・空気量試験表	施工管理基準
第 31 号	コンクリートの圧縮強度試験表	施工管理基準
第 32 号	\bar{X} -R(スランプ・空気量)管理図	施工管理基準
第 33 号	\bar{X} -Rs-Rm(圧縮強度)管理図	施工管理基準
第 34 号	ゆとりの検討表	施工管理基準
第 35 号	粗骨材のふるい分け試験表	施工管理基準
第 36 号	細骨材のふるい分け試験表	施工管理基準
第 37 号	骨材の微粒分量試験	施工管理基準
第 38 号	細骨材の表面水率試験表 (容積法)	施工管理基準
第 39 号	細骨材の表面水率試験表 (重量法)	施工管理基準
第 40 号	現場配合修正表	施工管理基準
第 41 号	コンクリート配合試し練り修正表	施工管理基準

入札第 号

入 札 書

工事名

	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	円
入札金額									

ただし、上記金額は、消費税相当額を除いた金額であるので、契約額は、上記金額に8%に相当する額を加算した金額となること及び入札者注意書、現場説明書を承知のうえ入札します。

平成 年 月 日

殿

入札者住所

社 名

氏 名 印

代 理 人

社 名

氏 名 印

見 積 書

工事名

	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	円
見積金額									

ただし、上記金額は、消費税相当額を除いた金額であるので、契約額は、上記金額に8%に相当する額を加算した金額となること及び入札者注意書、現場説明書を承知のうえ入札します。

平成 年 月 日

殿

見積者住所

社 名

氏 名 印

代理人住所

社 名

氏 名 印

見 積 書

工事名

上記工事の新規工種単価について下記のとおり見積りします。

工種・種別	単位	単 価	備 考

平成 年 月 日

殿

受注者

印

請負代金内訳書の提出について

工 事 名

工 事 場 所

請負代金額 ￥ -----

契約年月日 平成 年 月 日

工 期 平成 年 月 日から 日間

平成 年 月 日まで

国有林野事業工事請負契約約款第3条第1項に基づき、請負代金内訳書を別紙のとおり提出します。

平成 年 月 日

殿

受注者

印

監督職員	平成 年 月 日
経 由	氏名 印
記 事	

工事工程表の提出について

工 事 名

工 事 場 所

請負代金額

¥ -----

契約年月日

平成 年 月 日

工 期

平成 年 月 日から 日間

平成 年 月 日まで

国有林野事業工事請負契約約款第3条第1項に基づき、工事工程表を別紙のとおり提出します。

平成 年 月 日

殿

受注者

印

監督職員	平成 年 月 日
経 由	氏名 印
記 事	

工 事 工 程 表

工事名 _____

工期 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日から _____ 日
 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日まで 日間 受注者 _____

工種・種別	数量	単位	月		月		月		月		月		月		平成	年	月	日
			10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	備考	

様式第5号の2

着工通知書

工事名

契約年月日 平成 年 月 日

工期 平成 年 月 日から 日間
平成 年 月 日まで

着工年月日 平成 年 月 日

上記のとおり着工したから通知します。

平成 年 月 日

殿

受注者

印

監督職員	平成 年 月 日
経 由	氏名 印
記 事	

現場代理人及び主任技術者等通知書

平成 年 月 日に契約した 工事の
現場代理人及び主任技術者等を下記のとおり定めたので、国有林野事業工事請
負契約約款第10条第1項に基づき別紙経歴書を添えて通知します。

記

1. 現場代理人
2. 主任技術者（監理技術者）
3. 専門技術者

平成 年 月 日

殿

受注者

印

監督職員	平成 年 月 日
経 由	氏名 印
記 事	

経 歴 書

(現場代理人・主任技術者・監理技術者・専門技術者)

本 籍 地		
現 住 所		
氏 名		
(最 終 学 歴)		
年 月		
(保 有 資 格 免 許)		
年 月		
年 月		
年 月		
(職 歴)		
年 月		
年 月		
年 月		
(工 事 経 歴)	発 注 者	
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
上記のとおり相違ありません。		
平成 年 月 日		
氏名		印

工期延長願

工事名

請負代金額 ￥ -----

契約年月日 平成 年 月 日

工期 平成 年 月 日から 日間
平成 年 月 日まで

上記工事について、国有林野事業工事請負契約約款第21条第1項に基づき、下記のとおり工期を延長されるよう、変更工事工程表を添えてお願いします。

記

1. 事由 別紙のとおり

2. 工事延長 平成 年 月 日から 日間
期間 平成 年 月 日まで

平成 年 月 日

殿

受注者

印

監督職員	平成 年 月 日
経 由	氏名 印
記 事	

損害の発生通知書

工 事 名

工 事 場 所

請負代金額

¥ -----

契約年月日

平成 年 月 日

工 期

平成 年 月 日から 日間

平成 年 月 日まで

上記工事について、 のため次のとおり
損害を生じたので、国有林野事業工事請負契約約款第29条第1項により通知します。

平成 年 月 日

殿

受注者

印

監督職員	平成 年 月 日
経 由	氏名 印
記 事	

1. 損害額内訳					
種別(材料名)	数量	単位	単価	金額	備考
2. 火災保険その他損害を補填するものの明細					
名称		補填率	補填率	備考	
			%		
3. 被害写真 別紙					
4. その他参考事項					

完 成 通 知 書

工 事 名

平成 年 月 日 請負契約した上記工事は、
平成 年 月 日 完成したので、国有林野事業工事請負契約約款
第31条第1項に基づき通知します。

平成 年 月 日

殿

受注者

印

監督職員	平成 年 月 日
経 由	氏名 印
記 事	

部 分 確 認 願

工 事 名

平成 年 月 日 請負契約した上記工事の出来形部分
(搬入済み工事材料・工事製品)について、国有林野事業工事請負契約約款
第37条第2項に基づき確認をお願いします。

平成 年 月 日

殿

受注者

印

監督職員	平成 年 月 日
経 由	氏名 印
記 事	

中間前金払認定願

工 事 名

平成 年 月 日 請負契約した上記工事の中間前金払について、
国有林野事業工事請負契約約款第34条第4項に基づく認定をお願いします。

平成 年 月 日

殿

受注者

印

監督職員	平成 年 月 日
経 由	氏名 印
記 事	

の提出について

工 事 名

平成 年 月 日 契約した上記工事の
について、下記のとおり提出します。

記

- 1 . 別紙のとおり
- 1 . "
- 1 . "

平成 年 月 日

監督職員

殿

受 注 者
現場代理人

印

指示、承諾、協議、確認、検査、立会 報告書
願 書

平成 年 月 日

監督職員 殿

受注者
現場代理人
主任技術者

工事名		項目	
内 容		監督職員記載事項	

指 示 通 知 書
承 諾

工 事 名

(指示、承諾内容)

1 . 変更する工種等

2 . 変更区間延長等

3 . 変更する理由

上記のとおり 指示 する。
承諾

平成 年 月 日

受注者 (現場代理人)

殿

監督職員

氏 名

印

工事 施工計画書

平成 年 月 日に契約した上記工事の施工計画書について、
工事標準仕様書第 条に基づき下記のとおり提出いたします。

記

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1. 工事概要 | ……別紙のとおり |
| 2. 計画工程表 | ……別紙のとおり |
| 3. 現場組織表 | ……別紙のとおり |
| 4. 安全管理 | ……別紙のとおり |
| 5. 指定機械 | ……別紙のとおり |
| 6. 主要資材 | ……別紙のとおり |
| 7. 施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む） | 別紙のとおり |
| 8. 施工管理計画 | …別紙のとおり |
| 9. 緊急時の体制及び対応 | …別紙のとおり |
| 10. 交通管理 | ……別紙のとおり |
| 11. 環境対策 | ……別紙のとおり |
| 12. 現場作業環境の整備 | 別紙のとおり |
| 13. 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法 | ……別紙のとおり |
| 14. その他 | ……別紙のとおり |

平成 年 月 日

監督職員

殿

受注者

現場代理人

印

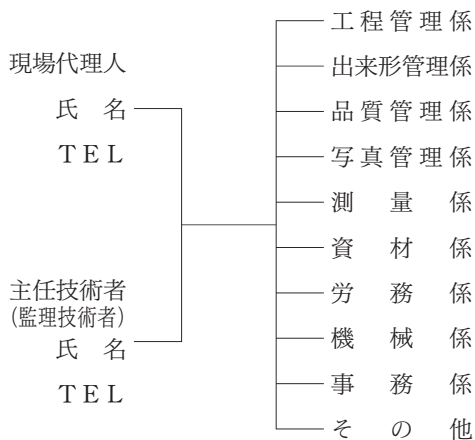
現場組織表

現場事務所

住所

TEL

担当業務 氏名



(注) 工事の規模、内容により必要な担当者を定め、施工に係わる責任の範囲を明らかにしておく。

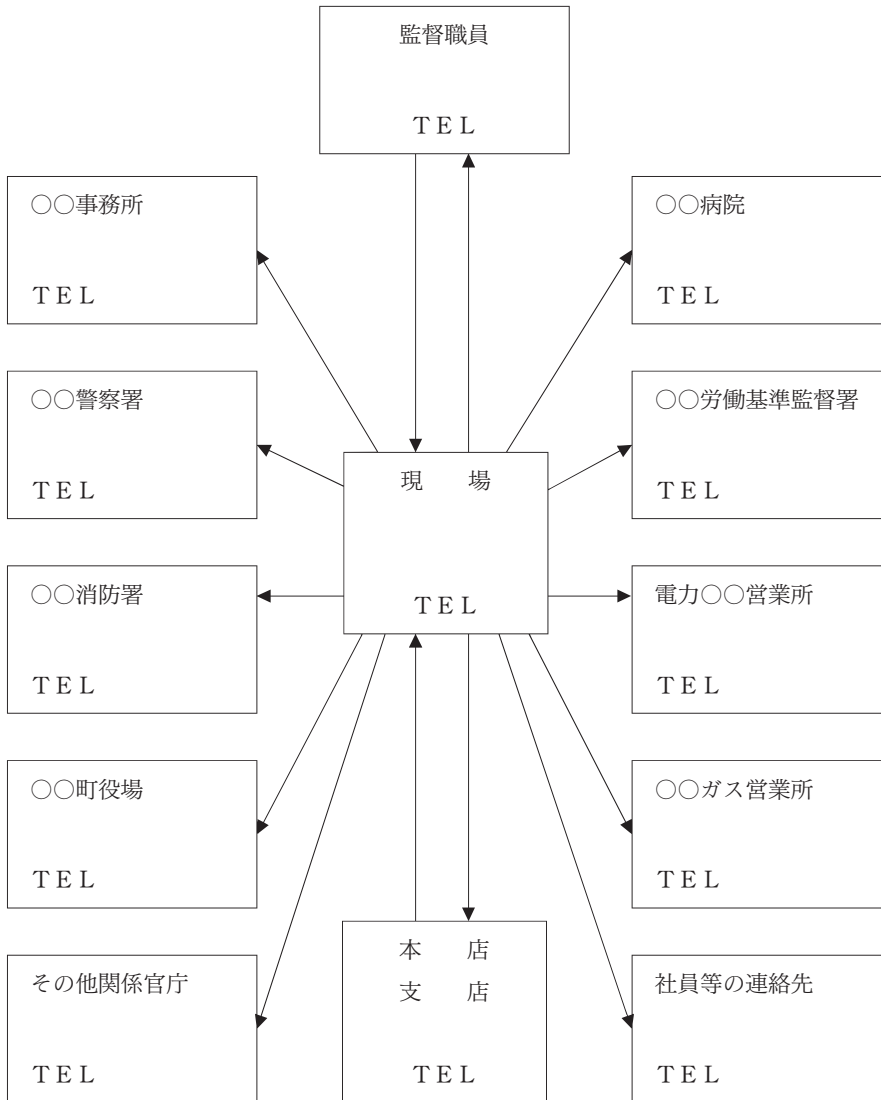
指 定 機 械

工事名				請負者																				
機 械 名	メーカー、規格、形式等	台数	使用工種	作 業 予 定 期 間												備 考								
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									

様式第19号

(注) 主要機械については、別途写真を整理しておくこと。

緊急時の連絡体制



様式第21号

(注) 大雨、洪水、強風等の異常気象で災害が発生した場合又はその恐れがある場合、その他緊急時の場合は、現場責任者は、情報連絡、対策等を上記の連絡系統で速やかに措置できるようにする。

年 月 日

施 工 体 制 台 帳

会 社 名

事 務 所 名

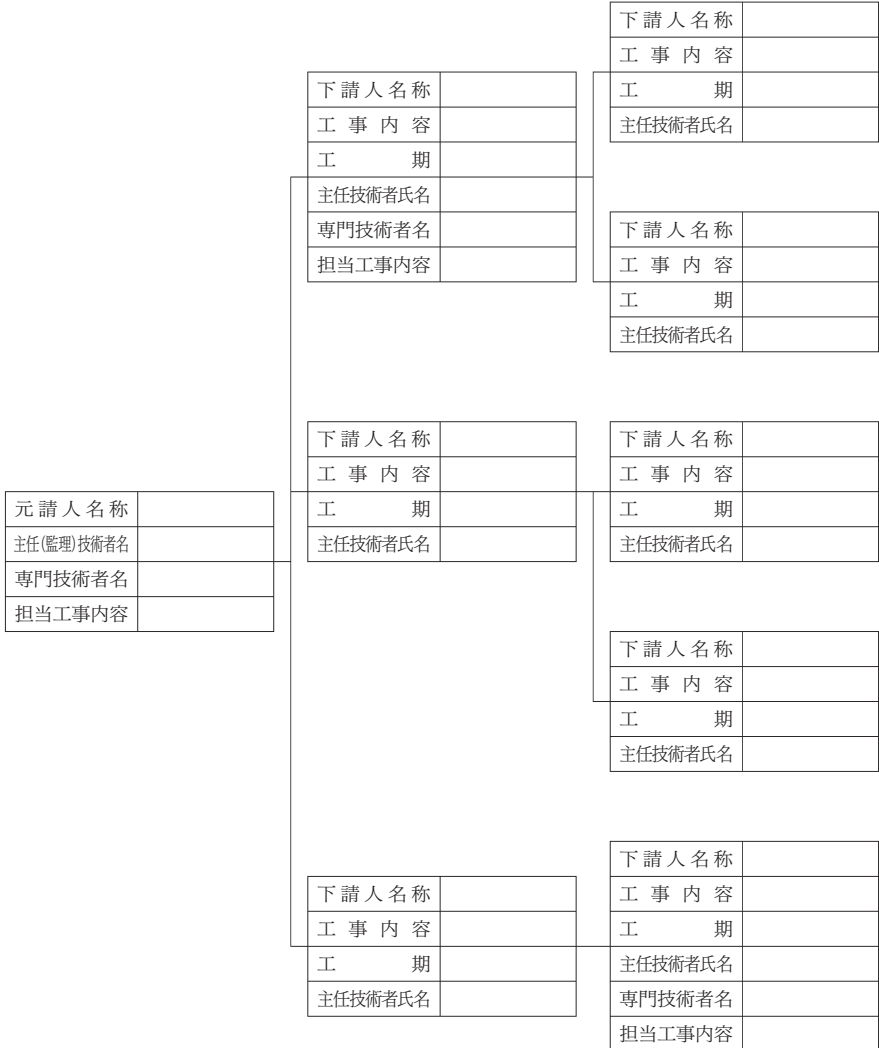
建設業の 許 可	許 可 業 種	許 可 番 号			許可(更新)年月日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号	年 月 日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号	年 月 日
工事名称 及 工事内容					
発注者 及び 住 所	〒				
工 期	自 年 月 日 至 年 月 日	契 約 日	年 月 日		
契 約 所 営 業	区 分	名 称			住 所
	元請契約				
	下請契約				
発注者の 監督職員名				権限・意見 申出方法	
現 場 代 理 人				権限・意見 申出方法	
監 理 者 技 術 者 名	専 任 非専任				資 格 内 容
専 門 技 術 者 名				専 門 技 術 者 名	
	資 格 内 容				資 格 内 容
	担 当 工 事 内 容				担 当 工 事 内 容

下請人に関する事項

会社名			代表者名		
住所 電話番号	〒 (☎ - -)				
工事名称 及び 工事内容					
工期	自 年 月 日	至 年 月 日	契約日	年 月 日	
建設業の 許可	施工に必要な許可業種	許可番号		許可(更新)年月日	
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号	年 月 日
	工事業	大臣 知事	特定 一般	第 号	年 月 日
現場代理人			安全衛生 推進者名		
権限・意見 申出方法			雇用管理 責任者名		
主任技術者名	専任 非専任	専門 技術者名			
資格内容			資格内容		
安全衛生 責任者名			担当 工事内容		

施 工 体 系 図

工事名称		工 期	自	年	月	日
			至	年	月	日
発 注 者		契 約 日		年	月	日



工事事故報告書

平成 年 月 日

監督職員

殿

受注者

現場代理人

工事名				工事場所						
発生日時	平成	年	月	日(曜日)	時	分	天候			
災害発生状況・原因	どのような場所で どのような作業をしている時に どのような物または環境に どのような不安全なまたは有害な状態であって どのようにして災害が発生したかを詳細に記載する。また略図を添付する。									
被害状況	人的被害・物的被害を記載									
被災者	氏名		生年月日	年	月	日(歳)	性別	男・女	職種	
	連絡先						経験年数			
	傷病名		傷病部位		休業見込期間・死亡日時		被災場所			
今後の対策										
所見・状況										

コンクリートポンプ施工計画書

工 事 名		工 作 物				
圧送業者	名 称			配車予定ポンプ		
	代 表 者 名			メ ー カ ー		
	所 在 地			型 式		
	ポンプ保有台数			最大圧送距離	水平 m	
	所 属 協 会 名				垂直 m	
配車予定ポンプの性能仕様			配 管			
最 大 輸 送 量	m ³ /h	区 分	径	実延長	水平換算距離	
標 準 輸 送 量	m ³ /h	水 平 部 分		m	m	
輸送量コントロール	可・不可	垂 直 部 分		m	m	
配管途中の絞り管	必要・不要	曲 り 管	R= m 箇所		m	
輸送可能スランプ	cm～ cm	〃	R= m 箇所		m	
異物混入防止装置	あり・なし	絞 り 管		箇所	m	
コンクリートかく拌装置	あり・なし	フレキシブル ホ ー ス		m	m	
逆 転 装 置	あり・なし					
ポンプ・吐出口連絡装置	あり・なし	合 計			m	
レディミキスト	工 事 名			コンクリートの種類	普通	
	所 在 地			粗骨材最大寸法	mm	
	コンクリート 輸 送 時 間	最大	分	呼 び 強 度	N/mm ²	
		標準	分	ス ラ ン プ	cm	
	生コン車配車計画		m ³ 車	台	空 気 量	%
		m ³ 車	台	コンクリート 温 度 の 範 囲	°C～ °C	
		m ³ 車	台			
労務計画	生コン車誘導員			人	パイプレーター	人
	ポンプオペレーター			人		人
	筒先作業員					
付 表	1. コンクリートポンプ配管図					

上記のとおり作成したので提出します。

平成 年 月 日

監督職員

殿

施工管理担当者

㊟

施工管理担当者通知

工 事 名

平成 年 月 日に契約した上記工事について、 工事施工管理
基準に基づき施工管理担当者を下記のとおり定めたので通知します。

記

1. 管理担当者 現 住 所
氏 名
生 年 月 日
2. 学歴・資格 最終学校名
卒 業 年 次
資 格
免 許

3. 工事経歴

期 間	工 事 名	発 注 者

平成 年 月 日

監督職員

殿

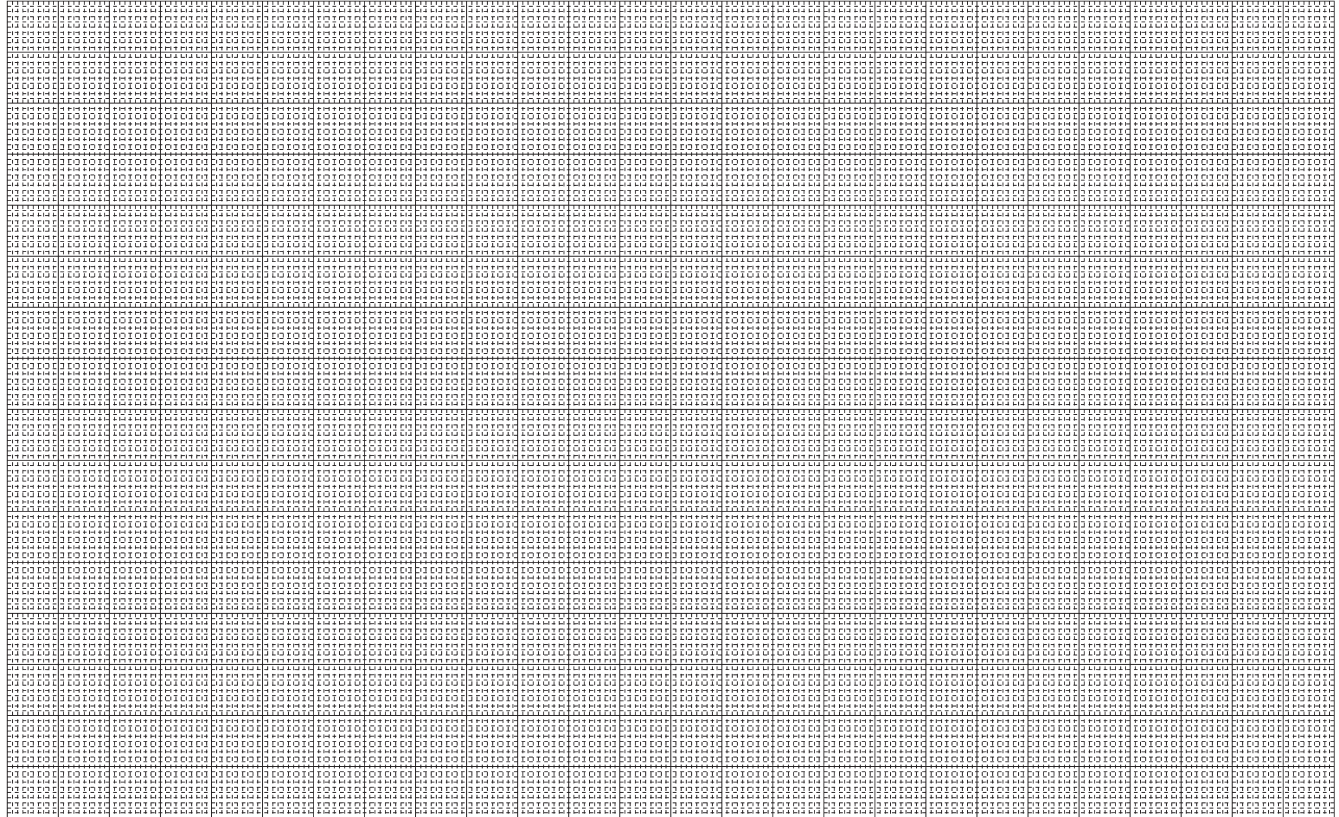
受注者

印

工 事 日 報

工事名			会社名				現場代理人				
年 月	作業内容	作業場所	作 業 量	使用機械	出役人員	使用材料	指示・承認・協議、特記事項				
日(月)					時間	人	kg				
天 候											
気 温											
雨 量											
日(火)											
天 候											
気 温											
雨 量											
日(水)											
天 候											
気 温											
雨 量											
日(木)											
天 候											
気 温											
雨 量											
日(金)											
天 候											
気 温											
雨 量											
日(土)											
天 候											
気 温											
雨 量											
日(日)											
天 候											
気 温											
雨 量											

出 来 形 图



出来形集計表

月分

工事名			確認 年月日	平成 年 月 日	現場 代理人					
工種・種別	数量	単位	出 来 形							
			前 月		本 月		計			
			数 量	進 行 率	数 量	進 行 率	数 量	進 行 率	数 量	進 行 率
				%		%		%		
摘 要										

様式第29号

コンクリートのスランプ・空気量試験表 (規格限界)

スランプ 空気量
最大 最小 cm cm % %

工 事 名		主任技術者										粗骨材の最大寸法										mmセメントの種類										混和材					水セメント比					%									
番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40											
測 定 月 日																																																			
気 温 (°C)																																																			
ブ ロ ッ ク 番 号																																																			
ス ラ ン プ (c m)	午 前 (x ₁)																																																		
	午 前 (x ₂)																																																		
	$\frac{(x_1) + (x_2)}{2} = X_1$																																																		
	午 後 (x ₃)																																																		
	午 後 (x ₄)																																																		
	$\frac{(x_3) + (x_4)}{2} = X_2$																																																		
	$\frac{X_1 + X_2}{2} = \bar{X}$																																																		
	$ X_1 - X_2 = R$																																																		
管 理 限 界 の 計 算		$\bar{X} = \div 5 =$					$\bar{X} = \div 10 =$																																												
		$\bar{R} = \div 5 =$					$\bar{R} = \div 10 =$																																												
		$\bar{X} \pm 1.88 \cdot \bar{R} = \pm$					$\bar{X} \pm 1.88 \cdot \bar{R} = \pm$																																												
		$3.27 \cdot \bar{R} =$					$3.27 \cdot \bar{R} =$																																												
記 事																																																			
ス ラ ン プ (c m)	午 前 (x ₁)																																																		
	午 前 (x ₂)																																																		
	$\frac{(x_1) + (x_2)}{2} = X_1$																																																		
	午 後 (x ₃)																																																		
	午 後 (x ₄)																																																		
	$\frac{(x_3) + (x_4)}{2} = X_2$																																																		
	$\frac{X_1 + X_2}{2} = \bar{X}$																																																		
	$ X_1 - X_2 = R$																																																		
管 理 限 界 の 計 算		$\bar{X} = \div 5 =$					$\bar{X} = \div 10 =$																																												
		$\bar{R} = \div 5 =$					$\bar{R} = \div 10 =$																																												
		$\bar{X} \pm 1.88 \cdot \bar{R} = \pm$					$\bar{X} \pm 1.88 \cdot \bar{R} = \pm$																																												
		$3.27 \cdot \bar{R} =$					$3.27 \cdot \bar{R} =$																																												
記 事																																																			

コンクリートの圧縮強度試験表（規格値 N/mm^2 ）

工 事 名								主任技術者				粗骨材の最大寸法					mmセメントの種類					混和材				水セメント比				%										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
番 号	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
製 造 月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
試 験 月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
材 令 (日)																																								
養生温度 (°C)																																								
質 量 (kg)	a																																							
	b																																							
	c																																							
破 壊 荷 重 (N)	a																																							
	b																																							
	c																																							
圧 縮 強 度 (N/m ²)	a																																							
	b																																							
	c																																							
強度平均	$\bar{X} = \frac{a+b+c}{3}$																																							
範 囲	$R_s = X_1 - X_2 $																																							
	$R_m = \text{供試体差}$																																							
管理限界の計算	$\bar{X} = \div 5 =$	$\bar{X} = \div 10 =$																																						
	$\bar{R}_s = \div 4 =$	$\bar{R}_s = \div 9 =$																																						
	$\bar{R}_m = \div 5 =$	$\bar{R}_m = \div 10 =$																																						
	$\bar{X} \pm 2.66 \cdot \bar{R}_s = \pm$	$\bar{X} \pm 2.66 \cdot \bar{R}_s = \pm$																																						
	$3.27 \pm \bar{R}_s =$	$3.27 \pm \bar{R}_s =$																																						
$2.58 \cdot \bar{R}_m =$	$2.58 \cdot \bar{R}_m =$																																							
記 事																																								

X-R(スランプ・空気量)管理図

工事名	品質特性	主任技術者	作成者
-----	------	-------	-----

品質 特注	月日	スランプ																								空気量																								記事
		\bar{X}	R	\bar{X}	R	\bar{X}	R	\bar{X}	R	\bar{X}	R	\bar{X}	R	\bar{X}	R	\bar{X}	R	\bar{X}	R	\bar{X}	R	\bar{X}	R	\bar{X}	R																									
		cm	0	%	0	cm	0	%	0	cm	0	%	0	cm	0	%	0	cm	0	%	0	cm	0	%	0	cm	0	%	0	cm	0	%	0																	

様式第32号

$\bar{X}-R_s-R_m$ (圧縮強度) 管理図

工事名	品質特性	圧縮強度	主 任 技術者	作成者
-----	------	------	------------	-----

月 日																															
X	N/mm ²	[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
R _s	N/mm ²	[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
R _m	N/mm ²	[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
		[Grid]																													
記事																															
	予備データ因子																														

様
式
第
33
号

ゆとりの検討表 { スランプ 空気量 圧縮強度 }

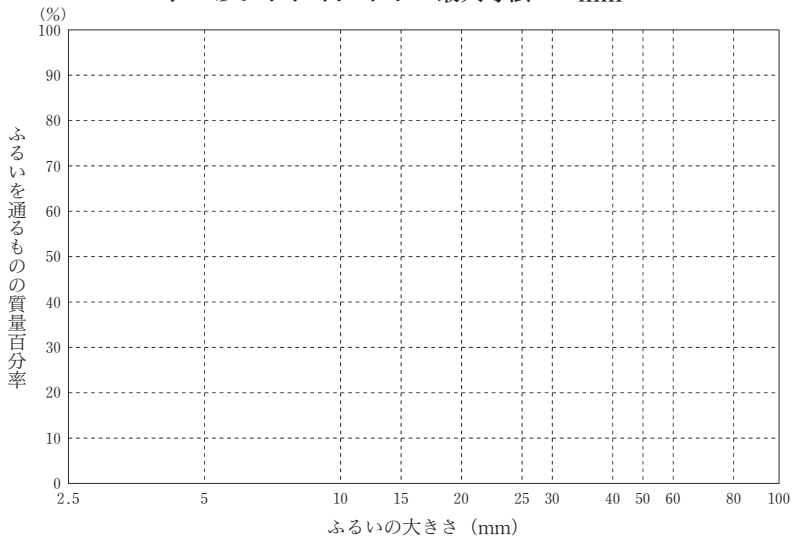
平成 年 月 日

工 事 名		主任技術者		作成者						
区 分	規 格					測 定 値		ゆとりの適否	規格に対する合否	変 動 係 数 CV
	片 側 規格値 S	下 限 規格値 SL	上 限 規格値 SU	規格を 割る確 率 P	基準正規 分布の上 側確率P の点 KP	S - \bar{X} $\hat{\sigma}$	SU - SL $\hat{\sigma}$			
スランプ		cm	cm							%
空気量		%	%							
圧縮強度	N/m ²			0.05	1.64					
項 目	ス ラ ン プ			空 気 量			圧 縮 強 度			
母標準偏差の推定値 $\hat{\sigma}$	$\frac{\bar{R}}{d_2} = \frac{\quad}{1.128}$ =			$\frac{\bar{R}}{d_2} = \frac{\quad}{1.128}$ =			$\frac{\bar{R}}{d_2} = \frac{\quad}{1.128}$ =			
コンクリート標準示方書による圧縮強度の許容限界の検査							$\frac{S - \bar{X}}{\hat{\sigma}}$ —— = > 1.64			
規格値との照合	$\frac{SU - SL}{\hat{\sigma}}$ —— = > 6 ~ 8			$\frac{SU - SL}{\hat{\sigma}}$ —— = > 6 ~ 8						
変動係数 CV	$\frac{\hat{\sigma}}{\bar{X}} \times 100$ ——			$\frac{\hat{\sigma}}{\bar{X}} \times 100$ ——			$\frac{\hat{\sigma}}{\bar{X}} \times 100$ ——			

粗骨材のふるい分け試験表 (JIS A 1102)

工事名					主任技術者				
試験日					産地				
ふるい分け試験	ふるいの大きさ (mm)	第 1 回				第 2 回			
		ふるいごとの残留量 (g)	累 計	総残留量 (%)	通過量 (%)	ふるいごとの残留量 (g)	累 計	総残留量 (%)	通過量 (%)
	60								
	50								
	40								
	30								
	25								
	20								
	15								
	10								
	5								
	受皿								
計									
試料	最大寸法	(mm)質量		(g)	最大寸法	(mm)質量		(g)	

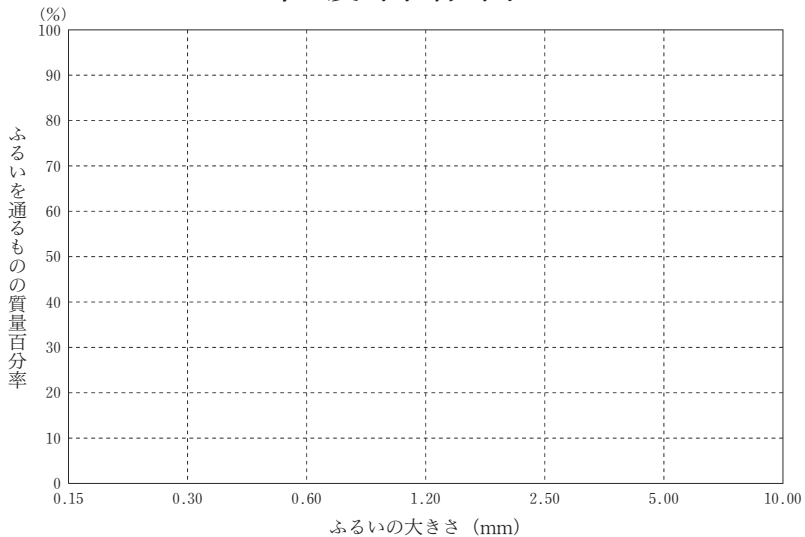
粒度曲線図 最大寸法 mm



細骨材のふるい分け試験表 (JIS A 1102)

工事名						主任技術者			
試験日		平成 年 月 日		産地		調査者			
ふるい分け試験	ふるいの大きさ (mm)	第 1 回				第 2 回			
		ふるいごとの残留量 (g)		総残留量 (%)	通過量 (%)	ふるいごとの残留量 (g)		総残留量 (%)	通過量 (%)
			累計						
	5.0								
	2.5								
	1.2								
	0.6								
	0.3								
	0.15								
	受皿計								
粗粒率	_____ = 100				_____ = 100				
平均	_____ + _____ = 2								

粒度曲線図



骨材の微粒分量試験 (JIS A 1103)

試験名	骨材の微粒分量			所 属 地		試 験 者	
測 定 年 月 日	室 温 (°C)	温 度 (%)	洗う前の乾燥 質 量 (g)	洗った後の乾燥 質 量 (g)	差引損失質量 (g)	0.075mm ふるい を通過する量の 百分率 (%)	摘 要
(注) 0.075mm ふるいを通過する量の百分率 = $\frac{\text{洗う前の乾燥質量} - \text{洗った後の乾燥質量}}{\text{洗う前の乾燥質量}} \times 100$							
摘 要	精度：2 回行い測定値と平均値との差 細骨材0.5% 粗骨材0.3%以下						

試験名	同上(メスシリンダーによる場合)			所 属		試 験 者	
測 定 年 月 日	室 温 (°C)	温 度 (%)	試料の量 (cc)	泥 の 量 (cc)	泥 の 割 合 (%)		
(注) 泥の割合 = $\frac{\text{泥の量}}{\text{試料の量}} \times 100$							
摘 要	精度：2 回行い測定値と平均値との差 細骨材0.5% 粗骨材0.3%以下						

細骨材の表面水率試験表 (JIS A 1111、容積法)

試験名	細骨材の表面水率試験		所属			試験者	
月日時	試験の質量 W_s (g)	フラスコのマークまで 水を入れた量 V_1 (cc)	フラスコに水と砂を 入れた量 V_2 (cc)	$V_s = V_2 - V_1$	$V_d = \frac{W_s}{\text{比重}}$	表面水率 P = $\frac{V_s - V_d}{W_s - V_s} \times 100$ (%)	

様式
第
38
号

精度：2 回行い平均との差 0.3%以下

細骨材の表面水率試験表 (JIS A 1111、重量法)

試験名	細骨材の表面水率試験			所属				試験者		
月日時	試料 W _s (g)	容器と水の質量 W _c (g)	容器と水と試料 の質量 W (g)	$V_s = W_s + W_c - W$ (g)	$V_d = \frac{W_s}{\text{比重}}$	$V_s - V_d = a$	$W_s - V_s = b$	表面水率 $P = \frac{a}{b} \times 100$ (%)		

様式第39号

精度：2回行い平均との差 0.3%以下

現場配合修正表

工 事 名		産 地		
実 施 年 月 日		主任技術者		
1. 示方配合				
水セメント比；		% 細骨材率； %		
単位セメント C (kg)	単 位 水 量 W (kg)	単位細骨材量 S (kg)	単位粗骨材量 G (kg) 混 和 剤 量 (kg)	
2. 現場における骨材の修正				
骨 材	5 mm ふるいを通過する量(%)	5 mm ふるいに留まる量(%)	備 考	
細 骨 材	a ；	b ；	ふるい分け試験による	
粗 骨 材	c ；	d ；		
<p>修正骨材量の算出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採取すべき細骨材量を x、粗骨材量を y として、連立方程式により算出する。 ・全骨材量 ； $x+y=S+G$ (S；単位細骨材量、G 単位粗骨材量) ・砂について； $(a/100)x+(c/100)y=S$ ・連立方程式を解いて、表乾状態における修正骨材量 x、y を求める 修正細骨材量 x； kg 修正粗骨材量 y； kg 				
3. 骨材の表面水の補正				
骨 材	表乾状態の 修正単位量	表面水率	表面水の算出	現場修正単位量
細骨材	x ； kg	P_s ； %	$P_{sw}=x(P_s/100)$ = (/100) = (kg)	$X=x+P_{sw}$ = + =
粗骨材	y ； kg	P_G ； %	$P_{Gw}=y(P_G/100)$ = (/100) = (kg)	$Y=y+P_{Gw}$ = + =
水	w ； kg	—	$W_p=(P_{sw}/P_{Gw})$ = (+) = (kg)	$WW=W-W_p$ = - =
4. 現場配合				
単位セメント C (kg)	単 位 水 量 W(WW) (kg)	単位細骨材量 S(X) (kg)	単位粗骨材量 G(Y) (kg)	混 和 剤 量 (kg)

コンクリート配合試し練り修正表

平成 年 月 日

工事名					骨材の 産 地					
実 施 年 月 日	平成	年	月	日	主 任 技 術 者				調 査 者	
セメントの種類	W	C	S	G	混和剤	スランブ	空気量	W/C	そ の 他	
(標 準 配 合) 示 方 配 合									混和剤名	
混 合 修 正	%									
	修 正 量									
	修正後の 単 位 量									
バ ッ チ 量										
表 面 水 修 正	%									
	修 正 量									
試 し 練 り の 経 過	標準配合									
	1									
	2									
	3									
	4									
	最も良い 配 合									
表 面 水 修 正	%									
	修 正 量									
	修正後の 単 位 量									
骨 材 配 合 修 正	%									
	修 正 量									
	修正後の 単 位 量									
単 位 量									s/a =	
決 定 単 位 量										
備 考										